

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 19

H29. 2. 21

発行責任者 校長 橋本一弥



伝統を引き継ぐ

卒業を一月後に控え、学校では様々な活動の引継ぎを行っています。2月7日には鼓笛移杖式を行い、活動を新鼓笛隊にバトンタッチ。しっかりと守ってきた伝統が下級生に引き継がれました。6年生のみなさん、本当にお疲れ様でした。

新鼓笛隊は、長い期間積んできた練習の成果を発揮し、立派な演奏を披露しました。今の気持ちと「心に響く演奏を」という目標を大切に、がんばってほしいです。



縄跳び記録会を開催（2月15日） ～たくさんのご声援、ありがとうございました～

冬期間の体力づくりとして取り組んできた縄跳び運動の記録会を、多くの方々の応援をいただきながら実施できました。応援に後押しされて、合格ラインを越えた子ども、自己新記録を達成できた子どもがたくさんいました。

業間に行った「たてわり大縄大会」もとても盛り上がりました！



上学年



下学年

今年度最後の学芸集会（5年生）

国語で学習した論語や音楽で学習した合奏「キリマンジャロ」などを発表しました。論語をみんなで暗唱して、その意味を全校生に堂々と紹介する姿や少人数でもきれいなハーモニーを奏でる姿は、まさにもうすぐ「あこがれの6年生」。とても頼もしく感じました。



入賞おめでとう (敬称略)

福島県書き初め展

奨励学校賞		中郷小学校	
毛筆 書き初め奨励賞	4年	宗像珠希子	
特選	2年	上石奏美	
	3年	大橋愛菜	木幡光希
	4年	過足愛菜	上石一成
	5年	柳沼空花	
	6年	橋本隆博	佐藤 萌
硬筆 特選	1年	橋本紗耶香	
	2年	影山明歩	

平成28年度選挙啓発書道展 優秀賞

5年	村上リナ
6年	八木沼奏登

全国植樹祭ポスター原画募集 佳作

5年	橋本 隼
----	------

職員もがんばりました！

田村地区教職員研究物展 入選 中郷小学校

研究テーマ

「進んで文章を読み、相手に伝えながら表現力、思考力を身につける指導のあり方」

3年の継続研究で、今年度1年間取り組んできた国語科の研究実践をまとめ、出品しました。

子どもをたくましく育てるために

その14 自分自身を鍛える習慣を育てよう②

～工夫次第で、鍛える場は作ることができる～

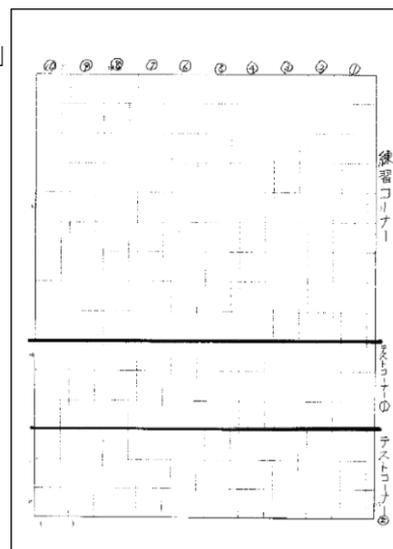
自分自身を鍛えるのはなかなか難しいことですが、少しの工夫で効果的にできることも少なくありません。漢字の学習を例に考えてみましょう。小学校ではたくさんの漢字を学習しますが、新しい漢字を学習した時には、家庭学習などでも練習すると定着してきます。繰り返し書いて自分のものにするのはとても大事ですが、中には、漢字ノートに何行も何行も同じ漢字を書いて練習する児童がでてきます。あまりにも機械的な反復練習は、思考を伴わなくなるので、あまり良い方法とは言えないようです。

では、何か良い方法はないでしょうか。練習した「自分を試す」ことで、効率や効果は高まります。何回か書いてみたら、少し時間をおいて自分に問題を出して、どのくらい書けるか試してみるのがいいですね。それを、漢字練習ノートで効率よくやっていた例を紹介します。

漢字ノートの下から3マス目に線を引きます。線の上が「練習コーナー」で、線の下は「テストコーナー」です。練習を線の上まで行い、練習を終えたらその漢字の読みを下のテストコーナーに書いておきます。こうして10の新しい漢字を一通り練習したら、練習したところは隠しながら下のテストコーナーで解いて、丸付けをします。書けなかったところや間違いは強く心に残るので、次からの間違いはかなり減ります。ノートにわずか1本の線を加えるだけで、自分で自分をテストできる自分を鍛える漢字ノートになるのです。

以前に担任した児童の中に、テストコーナーをもう一段増やして練習とテストのバランスを工夫していた子もいました。数回の集中した練習と2回のテストで漢字を効果的に習得できるようになっていきました(右図)。

2月2日の「豆まき集会」では、それぞれの学年から「心の中の鬼」の発表がありました。自分を鍛えるには、工夫と共に自身の弱いところを知り、それに打ち勝って努力を続けることが大切です。どの子ども心の中の鬼を追い出して力をつけられる児童に成長してほしいものです。



豆まき集会での4年生の「心の中の鬼」の発表から

